

第1回 北上市立更木小学校・二子小学校 統合検討委員会 会議要旨

日時：2026年5月19日（火） 18:00～19:50

参加者：及川和志、堀川勇、八重樫龍平、澤田安弘、伊藤修司、石川学、澤田真、八重樫雅弘、八重樫佑介、川邊泰雄、小原喜芳、斎藤芳里、浅野博道、千田恵一、藤村隆広、澤田千恵子、川村恵壽、平野直志、北上市教育委員会教育部総務課長 嶽間澤健一郎、学校教育課長 多田義孝、総務課 岩淵麻美、高橋典男

欠席者：小原健史

会議の概要：

本委員会は、北上市立更木小学校と二子小学校の統合に向けた第1回の検討委員会である。昨年度までの地域協議会の結果を踏まえ、具体的な統合計画について協議することを目的としている。会議はアイスブレイクから始まり、教育委員会からの趣旨説明、出席者の自己紹介、委員会の運営方法に関する協議が行われた。その後、教育委員会から提示された統合方針案（更木小学校を二子小学校へ令和9年4月に統合する案）を基に、通学方法、学童保育、跡地利用、小中一貫校の構想など、多岐にわたる課題について意見交換が行われた。最後に、今後の委員会の日程や運営について確認し、閉会した。

次第2：教育委員会からの趣旨説明

北上市教育委員会教育部総務課長より、本検討委員会の設置経緯と今後の進め方について説明が行われた。

- 重要ポイント：
 - 経緯：北上市の「適正配置基本計画」に基づき、学校規模の適正化を目的として市内4校で地域協議会が開催された。更木小学校の地域協議会からは、「子どもたちの教育環境適正化のため、同じ中学校区である二子小学校との統合を第一に検討したい」との結論が出された。
 - 市の教育委員会の方針（案）：
 - 使用校舎：二子小学校の校舎
 - 統合目標時期：令和9年（2027年）4月
 - 重要事項：

- 統合に向けて具体的な協議をしていくことだけが決まっており、詳細はこれから協議して決定する。
 - 統合時期については、新聞等で大きく報道されたが、保護者の「できるだけ早い時期に」という意見を踏まえた目標時期であり、これも含めて本委員会で決定する。
- **委員への依頼事項:**
 1. **積極的な発言:** それぞれが推薦された団体の代表として、積極的に意見を述べること。
 2. **情報共有と意見集約:** 各自が所属団体に協議内容を持ち帰り、情報を共有し、意見をまとめて次の会議に臨むこと。
 3. **相互尊重:** 他者の意見を否定せず、尊重し合うこと。自分の意見を押し付けないこと。
 4. **結論の出し方:** 必ずしも多数決ではないが、議論を尽くした上で多数をもって結論とする場合もあること。
 5. **中心は子どもたち:** 「子どもたちの教育環境をより良くするための話し合いである」という基本姿勢を常に念頭に置いて協議を進めること。

次第3：出席者の自己紹介

趣旨説明に続き、アイスブレイクで並んだ順番に出席者が自己紹介を行った。

- **自己紹介内容:** 氏名、住まいの学区、所属団体、子どもとの関わりなどについて、一人 30 秒程度で実施。

次第4：委員会規約

二子小学校・更木小学校統合検討委員会の運営規約案を読み上げ、出席者了承により承認。所掌事項、委員構成（20 人以内）、役職（委員長互選・副委員長指名）などについて確認。令和 8 年 5 月 19 日施行。

次第5：委員長互選、副委員長指名

更木小 PTA 会長・澤田安弘氏を互選により委員長に選出した。副委員長には二子小 PTA 会長・及川和志氏を委員長指名により選出した。委員長からは活発な意見集約と十分な議論で合意形成を目指すとの挨拶があった。

次第6：協議（1）会議の運営方法について

今後の委員会の運営方法について、基本理念、グランドルール等の説明を行った。代理出席、議決方法などについて質疑があり議論が行われた。

- **基本理念・グランドルール：**
 - 議論の出発点は「子どもの最善の利益」を第一に考えること。
 - 発言は手短かに結論から述べ、他者の意見を尊重する。
 - 決定事項や協議内容は、地域住民や保護者へ積極的に伝達すること。希望者にはオブザーバー参加を認めるなど、開かれた委員会運営を目指す。
 - 庁内連携体制を整備済みであり、委員会での情報を広く共有し、必要な協議がスムーズに行われるようにする。
- **委員の代理出席と議決権：**
 - **質問：**「委員が欠席する場合、代理出席は認められるか。代理者に議決権はあるか。」
 - **見解：**代理出席は可能だが議決権のないオブザーバーとしての参加としたい。
- **協議事項の決定の進め方と委任状の扱い：**
 - **質問：**「組織の代表として参加しているため、その場で即時判断が難しい議案もある。議決が必要な案件は、事前に議案として提示してもらえるのか。」
 - **見解：**基本的に即決はせず、次回の会議で論点を整理し、意見を重ねながら方向性を決める。これにより、各委員は所属組織と協議する時間（最低でも2週間）を確保できる。
 - **決定事項：**重要事項に限り、事前に議決を予告した上で、欠席する委員からの「議決権に関する委任状」等の提出を認める方向で合意。
- **委員交代について：**
 - **質問：**任期中の委員交代は可能か。
 - **見解：**原則として想定していないが、やむを得ない場合は推薦団体からの再推薦を経て、次回会議で承認を得る形になる。

次第6 協議（2）北上市立二子小学校及び更木小学校の統合方針について

教育委員会から統合案について説明した後、参加者から懸案事項等の意見を聴取した。

- **教育委員会からの統合案説明：**

- **目的:** 一定規模の児童数を早期に確保し、社会性の育成や多様な学びの機会を保障する。
- **統合方法:** 更木小学校を二子小学校へ統合する。
- **統合時期:** 令和9年4月を目途とする。
- **使用校舎:** 現在の二子小学校の校舎を使用する。
- **校舎整備:** 小学校統合後、北上北中学校の整備も含めて検討する。
- **通学方法:** 更木小学校の児童にはスクールタクシー等を手配する。
- **学童保育所:** 希望者の状況を確認し、当面は更木小の学童と二子小学童の併用も検討する。ただし基本的には統合先の学童を利用し、数年以内に一本化する見込み。
- **児童間交流:** 統合前の交流活動を秋以降に順次実施する。
- **質疑等:**
 - 提示された案について、「二子小へ更木小の子がみんな転校するようなイメージか」と質問があり、これが令和9年4月統合を実現するための最短の方法であるとの認識を示した。
 - 校舎の建て替えなどを伴う場合、令和9年4月の統合は困難になるため、現校舎を活用する今回の案を提示していると補足説明した。
 - バスではなくタクシーである理由について質問があり、複数方向からの通学となるため、子どもの乗車時間負担を考慮し複数台のタクシーの方が効率的だと説明した。
 - 資料の学校間の距離(2.7km)の掲載意図について、スクールバス運行の原則(3km)の参考情報であると説明。
- **主な意見:**
 - 「二子小の校歌を歌うことになるのか」と不安を表明し、統合の先行事例を参考として共有してほしいと要望が出された。
 - 更木地区では昨年から議論があったが、二子地区にとっては新聞報道が初耳のような状況であり、両地区の住民間の気持ちのすり合わせが必要だと指摘があった。
 - 二子地区としては二子小の現行存続を望むと協議したところだが、昭和橋を越えた議論が出来ればと思う。地域コーディネーターの立場から、統合がスムーズに進むよう、学校行事などを通じて子どもたちの相互理解を深める交流を企画したいと提案。
 - 利用する児童数増加に対応するため、子育て支援課と連携し、学童保育のスペースや環境整備も検討してほしいと要望があった。
 - 統合は現実的としつつ、学校名をどうするのか、そういった具体的な点についても話し合いたい。

- 閉校後の校舎について、廃墟化は避けるべき。校庭が使えなくなることへの懸念を示された。
- 昨年、更木地区から教育委員会に提出された結果報告書や要望（12項目）をこの委員会で共有すべき。
- 二子小学校、北上北中学校の校舎老朽化を踏まえ、この機に小中一貫校の設立を検討してはどうかと提案。西和賀町や大槌町の事例を挙げ、斬新的な取り組みを模索すべきだと要望があった。
- 来年4月の統合は校名変更などが生じれば難しいのではないかと。
- 「教育委員会が、この来年4月に目指してということを書いてくれたので、私はそれに協力していきたい」と、まずは目標に向けて行動すべき。
- 少人数の更木小の児童が、大規模な二子小の環境にうまく順応できるか心配。両校の児童が理解し合える環境整備が必要。
- 二子小児童の遊び方について同学年が多いのかと質問があり、二子小でも縦割り班活動があり、異学年交流が行われているとの説明があった。学童も同様。
- 二子小校長は、東桜小学校校長として統合を経験しているので話を伺っては。
- 二子小の現在の様子も知りたい。統合経験と併せて話を聞いては。
- **配布資料の訂正：**
 - 指摘により、配布資料の令和8年の統合後二子小学校の学級数が「2学級」から「7学級」に訂正した。

次第7：その他

今後の委員会の開催日程、時間、曜日、場所について調整。

- **開催頻度と日程：**
 - 2週間おきの開催が提案され、次回は6月2日、第3回は6月16日とする案が示された。
- **開始時間：**
 - 18時開始は早いとの意見があり、挙手の結果、18時半開始で合意した。終了時間は20時を目安とすることが確認された。
- **開催曜日：**
 - 火曜日固定とすることについて複数の委員から都合が悪いとの意見が出たが調整が完了しなかったため、まずは次回の日程を確定することになった。
- **次回の開催日時・場所：**

- 検討の結果、次回は2026年6月2日（火）18:30から、二子地区交流センターで開催することが決定した。